

# 京の世界遺産 ぐるりバス

## 土日祝乗り放題2千円



朝日新聞 13(H25).4.19



平安神宮前を通る「京都ひるバス」  
— 京都市左京区、戸村登撮影

京都市で金閣寺などの世界遺産や有名寺社を巡る初の定期路線(土日・祝日限定)バスの運行が始まった。「バスの乗り継ぎがややこしい」「マイカーの駐車場も少ない」といった観光客の声を受け、地元の商店主たちで作る民間企業「京都まちづくり交通研究所」が企画した。バスの名称は「京都ひるバス」。すでに夜間に繁華街とJR京都駅を結ぶバスを運行しているため、こう名付けたという。運行は京阪バスに委託し、土日・祝日の午前8時40分からほぼ1時間間隔で1日10便。座

席は60席ある。JR京都駅発で、時計回りに西本願寺、二条城、金閣寺、下鴨神社、銀閣寺、清水寺……といった世界遺産や有名寺社の周辺の16停留所に止まる。寺社の歴史や見どころも車内アナウンス。乗車券(中学生以上2千円、小学生1千円)はJR京都駅前の定期観光バス乗り場などで買え、1日に何度も乗降できる。京阪バスへの委託料もあり、市バスの1日乗車券(500円)と比べると割高だが、「乗り継ぎなく効率的に寺社を回れる」(同研究所)の売りだ。

京都市内のバスの路線図は複雑で、市が2011年に実施した観光客への調査でも電車、バスなどの公共交通機関への不満がトップだった。運行が始まった13日、二条城近くの停留所から乗った神奈川県横須賀市の女性会社員(34)は「なぜ今までなかったのか不思議。本当に助かります」と話していた。13、14日の乗車率は2〜3割程度。同研究所の宇津克美代表は「京都初の新バスシステム。知名度は高くないが、今後はホテルや観光施設にチラシを置いてPRし、京都全体を盛り上げた」と。問い合わせは京都定期観光バス予約センター(075・672・2100)へ。(岡田匠)